▲コロナ禍が再拡大するなかでの開催とあって関係者やコーチの観戦も不可。静寂な会場にピンが弾け飛ぶ音だけが響いた（4月23日、東京ポートボウル）

JPBA

第59回男子・第53回女子プロボウラー資格取得テスト

<東日本地区>4月20・21日＝東京・品川プリンスホテルBC
22・23日＝東京ポートボウル
<西日本地区>4月20・21日＝大阪・ボウルアロー松原店
22・23日＝兵庫・AREA-Do 三田 BC

東西で男子22名・女子14名が第1次実技テスト突破！

JPBA第59回男子・第53回女子プロボウラー資格取得テストの第1次実技テストが4月20～23日の4日間、東西の4会場で開催された。受験者は男子46名（東西各23）、女子18名（東14、西4）の計64名。

コロナ禍が再々拡大するなかで2年ぶりの開催となった今回は、感染防止対策として無観客（選手関係者を含むすべての観戦が不可）の措置がとられ、受験者はマスクを装着しての投球が義務付けられた。

4日間で規定のゲーム数（男子60G、女子48G）を完投し、合格基準点（男子12,000＝200Avg、女子9,120＝190Avg）をクリアして第2次実技テストの受験資格を得たのは、男子22名（東西各11）、女子14名（東12、西2）の計36名（別表参照）。第2次実技テストはこれに男子6名、女子2名の1次免除者が加わり、5月10・11日＝大阪・牧野松園ボウル、同24・25日＝東京・サンスクエアボウルにて実施される予定だ。

しかし、23日夜に東京・大阪・京都・兵庫の4府県に緊急事態宣言の発出が決定（期間は4月25日～5月11日）。ボウリング場も休業要請対象とされたため、延期または会場変更等が発生する可能性もある。

1次テスト突破の注目選手

今回は11年前に勃発した"女子プロ分裂騒動"の際、JPBAを退会してLBO（日本女子ボウリング機構＝2013年解散）に転じた選手にも門戸が開かれ、清水弘子（JPBA14勝）、土屋佑佳（同1勝）の2選手が受験。順当に1次を突破した。女子では"アイドルボウラー"熊本美和が4度目の挑戦にして初の1次突破を果たしたほか、倉田萌（48期）の実妹・倉田結（ゆう）も受験し、東日本地区の末席で2次に駒を進めている。

また、東日本地区でトップ進出の男子・坂本就馬（しゅうま）は、今をときめく坂本かや（49期）の実弟。今年、都内の大学に進学したばかりの18歳で、晴れてプロライセンス取得のあかつきには"現役大学生プロ"として大いに注目を集めそうだ。

（文中敬称略）

◀左上から時計回りに清水弘子、熊本美和、坂本就馬、倉田結

プロボウラー資格取得テスト第1次合格者

＜東日本・男子＞

順位	氏名	登録地	利腕	スコア	AVG
1	坂本　就馬	神奈川	右	13,485	224.75
2	入江　健太	埼　玉	右	13,304	221.73
3	砂原　雅幸	埼　玉	左	12,994	216.56
4	鈴木　健也	神奈川	両	12,966	216.10
5	渡邉　克己	神奈川	右	12,830	213.83
6	鈴木　一彌	栃　木	左	12,790	213.16
7	矢部圭司郎	埼　玉	右	12,637	210.61
8	山﨑雄太郎	千　葉	右	12,346	205.76
9	鹿田　高臣	静　岡	両	12,242	204.03
10	笹島新太郎	神奈川	両	12,224	203.73
11	濱名　晃司	埼　玉	両	12,127	202.11

＜西日本・男子＞

順位	氏名	登録地	利腕	スコア	AVG
1	伊吹　太陽	滋　賀	右	12,821	213.68
2	大久保雄矢	奈　良	左	12,731	212.18
3	木村　謙太	愛　知	右	12,688	211.46
4	鮫島　　蓮	愛　知	右	12,678	211.30
5	田中　義一	広　島	右	12,592	209.86
6	田中　椋也	石　川	右	12,585	209.75
7	中嶋　広明	大　阪	右	12,235	203.91
8	山本　和紀	愛　知	右	12,218	203.63
9	城戸健一郎	福　岡	両	12,205	203.41
10	田野岡大夢	大　阪	右	12,086	201.43
11	渡部　冬真	島　根	両	12,017	200.28

＜東日本・女子＞

順位	氏名	登録地	利腕	スコア	AVG
1	幸木百合菜	東　京	左	10,911	227.31
2	土屋　佑佳	神奈川	右	10,295	214.47
3	清水　弘子	千　葉	左	9,971	207.72
4	酒井みれい	神奈川	右	9,822	204.62
5	奈良輪美佳	千　葉	右	9,705	202.18
6	水野あやか	千　葉	右	9,582	199.62
7	熊本　美和	東　京	右	9,513	198.18
8	関口　実穂	長　野	右	9,499	197.89
9	涌井　李音	東　京	右	9,451	196.89
10	中村　裕美	東　京	右	9,440	196.66
11	佐々木有香	埼　玉	右	9,437	196.60
12	倉田　　結	北海道	右	9,366	195.12

＜西日本・女子＞

順位	氏名	登録地	利腕	スコア	AVG
1	堀井　春花	滋　賀	左	10,212	212.75
2	原野　萌花	福　岡	右	10,065	209.68

FOCUS UP ①　無念!　黒田アーサーさん"還暦のプロテスト初挑戦"は2日目で幕

今年2月に満60歳の誕生日を迎えた米国生まれのイケメン俳優・黒田アーサーさん。コロナ禍で仕事が漸減し、趣味のボウリングに費やす時間が増えていくなかで、昨年の夏ごろにプロテスト挑戦を思い立ったという。「本格的にやり始めてからは2年くらい」とキャリアは浅いが、ホームセンター（東京ポートボウル）でのアベレージは常時180～190台。仲間から「普段どおりに投げれば大丈夫」と背中を押され、"還暦の初挑戦"を決意した――。

☆

結果は厳しいものだった。初日＆2日目と計30Gを投げ終えて5155ピン（171.83Avg）。最低限の目標としていた"ホーム凱旋"＝3日目進出に必要なスコア（5700ピン＝190Avg）に遠く及ばず、黒田さんの還暦チャレンジは品川会場の2日間で幕を閉じた。

「体よりも精神的に疲れました」。成績確定後、本紙の取材に快く応じてくれた黒田さんは開口一番、そう言って苦笑した。

「普段、これだけ緊張した雰囲気のなかで投げることはないですからね。周りはプロになって真剣にボウリングをやっていこうという人たちばかり。仲間と楽しく投げているときとはまるで違う雰囲気でしたから」

むろん、黒田さんも遊び半分な気持ちでプロテストに挑戦したわけではない。

「結果が出たので言いますけど、ボクにとってはチャレンジすること自体が大きなテーマでした。還暦でプロテストに初挑戦する姿を見せることで、同じ60代のみなさんが元気になってくれたらという気持ちもありましたし、何より、ボウリングという素晴らしいスポーツを多くの人に知ってもらいたいという思いが大きかったんです」

その思いは少なからず報われた。黒田さんのプロテスト挑戦は本番前にスポーツ各紙のネットニュースが報じたほか、フジテレビ系列の情報バラエティー番組『バイキング MORE』でも紹介されて、全国のお茶の間に届けられたからだ。

「全国から応援の声もたくさんいただきました。それだけに、受からないまでも『惜しかったね』というところまではいきたかった。そんなに甘いもんじゃないということは分かっていたけど、偉そうに『還暦のチャレンジ』と宣言しておきながら情けない結果だったのが、自分的には歯がゆいというか、悔しいというか…。でも、これが今の実力だと受け止めています」

再挑戦に意欲満々!

今回は準備不足が否めない、と黒田さんは言う。

「2カ月くらい前から、小林哲也プロ（48期）とロバート・リープロ（38期）に YouTube 動画でレッスンを受けていました。身になることばかりでしたが、逆に短期間でいろいろ詰め込み過ぎたかも（苦笑）。今回プロテストを受けて、ボクにはまだメンタルやレーンの変化などに対応する引き出しがないことも痛感しました」

最後に、プロテスト挑戦は今回限り？と問うと「来年も受ける気満々です！」と笑顔で答えが返ってきた。

「このまま終わるのは悔しいし、応援してくれた仲間にも申し訳ない。課題もたくさん見つかったし、今はバリバリやる気です」

◀テスト本番では普段と違う緊張を強いられ、力を出し切れなかった（4月21日、品川プリンスホテルBC）